

東北文化学園大学同窓会における中期的重点目標

1. 同窓会の財政基盤の確立
2. 同窓会の存在と活動を周知するための広報活動の強化
3. 同窓会会員のニーズに沿った同窓会活動の強化
4. 大学、保護者、と同窓会との「三位一体」による絆の強化

※網掛け部分は『同窓会活動促進対策案』により検討する事業

1. 機関誌の発刊、ホームページ等の管理運営
 - (1) 同窓会報発行（年一回）
 - (2) 公式 Web サイト管理運営
現行のまま継続、必要に応じうまく活用し「同窓会活動促進対策」と連動する。
2. 会員名簿の整備及び管理
 - (1) 会員名簿の整備・更新
予算の関係上、他社に依頼することは難しく、現行のまま継続する。
 - (2) 会員住所判明調査
今後の調査方法については要検討。
3. 講演会、懇談会等の開催
 - (1) ホームカミングデー（文化学園祭出展など）
広告を作成し、昨年より大々的に宣伝することを検討。
 - (2) 他団体主催会合支援
同窓会活動促進対策の一環として、機会があれば検討する。（例：大学イベントへの後援等）
4. 「進路・就職支援」及び「正課外活動支援」等、在学生に対する支援
 - (1) 保護者懇談会支援
同窓生による講演を大学との調整のうえ検討。
 - (2) 後輩の就職支援
同窓会活動促進対策の一環として、OBを大学へ招待するなど大学と調整のうえ検討。
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業
 - (1) 会費徴収業務（入学者・卒業者・既卒者 督促含む）
 - (2) 会員サービス業務（学園歌 CD 製作・卒業記念品作等）
 - (3) 大学広報誌との連携
ルネッサンス発行時、同窓会WEBサイトにも掲載。
 - (4) 広報宣伝
同窓会専用掲示板による宣伝、チラシ等作成。
 - (5) OBの大学施設利用と資格取得のための支援
体育館・会議室等をOBへ優先的に利用できるしくみを大学と確認のうえ構築を検討。資格を取るためのサポート制度を検討。
6. 会議及び監査
 - (1) 理事会（年 4 回）
 - (2) 代表者会（年 1 回）
 - (3) Working Group
会則により委員会設置が可能なため、必要に応じて Working Group としての活動を検討。
 - ・ホームカミングディ企画 チーフ・サブ
 - ・会報作成担当 チーフ・サブ
 - ・同窓会の周知計画 チーフ・サブ

・次回定期総会 チーフ・サブ

※平成 24 年度の定期総会の開催はありません(次回定期総会：平成 25 年度)

(4) 会計監査

平成 23 年度会計監査は平成 24 年 5 月、東陽監査法人により実行予定。

以 上